



広 報

2025年

10

月号

編集委員 黒須俊行 南出美佐 前原直之



※【再掲】高齢者の服薬情報提供事業について

皆様には既に連絡させていただいておりますが、今年度も高齢者の服薬情報提供事業を行っています。

今年度は、実施方法が変更となっております。

詳細についてはeST-aidで8月6日に配信したファイルをご確認ください。

※【再掲】健康展のお知らせとお願い

令和7年12月7日（日）としま区民センター 多目的ホールにて健康展を開催する予定です。

既に会員の皆様には出動に関するアンケートをお願いしておりますが、お手伝いいただける方が予定人数より少ない状況です。アンケートの回答期限(10/26)が過ぎてしまいましたが、出動可能な先生がいらっしゃいましたら事務局までご連絡ください。ご協力よろしくお願いたします。



※ 妥結率の報告をお願いします

すべての保険薬局が対象です。11月28日（金）が提出期限ですので忘れずに報告してください。

都薬関連およびその他の重要な連絡事項など

1) バイオ医薬品啓発動画の活用をお願い

一般社団法人くすりの適正使用協議会より依頼がありました。

今回、一般の方向けのバイオ医薬品適正使用啓発動画を4本作成いたしました。バイオ医薬品のほとんどが注射剤で、近年では自己注射製剤の増加に伴い、患者さん自身が

自宅で管理、投与する機会が増えています。そのため、患者さんに適正使用を促す必要性がますます高まっています。

本動画を、これからバイオ医薬品を使用される患者さんやその家族への服薬指導にあたる薬局薬剤師の先生方にご活用いただければと考えています。

○一般社団法人 くすりの適正使用協議会 関連ページ

<https://www.rad-ar.or.jp/knowledge/post?slug=what-is-biopharmaceuticals-movie>

○日本薬剤師会ホームページ(リンク掲載箇所)

HOME > 薬剤師・薬局関連情報 > くすりの適正使用協議会作成 バイオ医薬品に係る啓発資材について

<https://www.nichiyaku.or.jp/yakuzaiishi/pharmacy-info/other/biopharmacy2022>

2) 令和7年度【健康サポート薬局に係る技能習得型研修】

≪研修会A及び研修会B≫の開催について

東京都薬剤師会より通知がありました。

今年度も「技能習得型研修(研修会A健康サポートのための多職種連携研修)及び(研修会B健康サポートのための多職種連携研修)」を開催することといたしましたので、以下の通りご案内申し上げます。

なお、詳細につきましては改めてご案内申し上げます。

≪研修会A≫ 令和7年12月14日(日) 10:00~14:30

≪研修会B≫ 令和7年12月14日(日) 15:00~19:40

いずれも受講受付：11月中旬 開始予定

3) 令和7年度東京都薬局物価高騰緊急対策支援金延長の実施について

東京都保健医療局より通知がありました。

東京都では令和7年4月1日から令和7年9月30日までを対象期間として実施している「令和7年度東京都薬局物価高騰緊急対策支援金」について、対象期間を同年12月31日まで3ヶ月分延長して実施いたします。

詳細につきましては保険部ページをご覧ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和7年度資料 > 令和7年10月資料

https://drive.google.com/file/d/10TkUmItoF3kUUKI-80km_aJ3-ca0JxMr/view?usp=drive_link

4) 認定実務実習指導薬剤師認定制度実施要領(改訂版)の修正について

日本薬剤師会より通知がありました。

さて、認定実務実習指導薬剤師認定業務を所管する薬学教育協議会では、標記「認定実務実習指導薬剤師認定制度実施要領」(以下「実施要領」)について今般種々の改訂を行い、その一環として認定実務実習指導薬剤師に定年制を導入することとされました。

その後、定年制のあり方については、本会とも協議の上、同協議会において改めて対応が検討され、時限的措置を設定する形に修正することとなりました。今般同協議会より、本時限的措置の内容並びに時限的措置を反映させた最新の実施要領等が、別添のとおり送付されましたので、ご案内申し上げます。なお、今般の実施要領改訂においては、上記定年制導入以外にも、養成研修会の受講条件、認定申請に係る審査料等で種々の改訂がなされており、それらも含め令和9(2027)年4月1日より施行予定とのことですので、ご参考までに申し添えます。

詳細につきましては保険部ページをご覧ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和7年度資料 > 令和7年10月資料
https://drive.google.com/file/d/1Sj5B3ZZoW9x2Nh8CbpS6EiYht_tdn6tk/view?usp=drive_link

5) 東京都薬剤師会生涯学習マネジメントシステム

「とやくプラットフォーム(とーぷら)」の今後のスケジュールについて

東京都薬剤師会より通知がありました。

今般、令和7年10月1日より、先行してe-MYLSが「とーぷら」上で受講可能となりましたので取り急ぎご報告させていただきます。しかしながら、登録完了メールの不手際や一時的にシステムの不具合が生じてしまいましたことお詫び申し上げます。今後も会員の先生方が利用しやすいシステムになるよう改善・向上に努めてまいります。

また担当者説明会や地区薬剤師研修会で今後のスケジュールはお伝えさせていただいておりますが、生涯学習マネジメントシステムにおいては、研修認定単位、並びに認定申請に関わる手続きの全面的な電子化等日々の会員の先生方の生涯研鑽に有用であると考える一方で、東京都薬剤師会生涯研修認定制度の研修実施機関であります地区薬剤師会の皆様におかれましては多大な準備を必要とされることもあり、このたび「とーぷら」への移行準備期間を下記のように延長させていただくことといたしました。公開に向けたスケジュールと併せご確認いただけますようお願いいたします。

詳細につきましては保険部ページをご覧ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和7年度資料 > 令和7年10月資料
https://drive.google.com/file/d/1FVZ5uZDPSwjFTBYKmiriD8mp7GJJafe4u/view?usp=drive_link

6) 東京都委託「令和7年度かかりつけ薬剤師研修会」の開催について

東京都薬剤師会より通知がありました。

本年度もかかりつけ薬剤師研修会を下記のとおり開催いたします。

本年度の本会活動テーマ「2025年のその先へ～すべてのライフステージで必要とされる薬剤師を目指して～」に基づき、「かかりつけ薬剤師に必要な薬学的知識と行動」を軸に企画いたしました。

開催形式は、集合研修と、ライブ配信のみの配信視聴を併用したハイブリッド形式となりますので、ご都合に合わせてお選びください。

記

1. 開催日時：令和7年11月16日(日)12:30～16:00(開場12:00)
 2. 開催形式：集合研修と配信視聴のハイブリッド形式
 - ・会場：エッサム神田ホール2号館4階大会議室(千代田区内神田3-24-5)
 - ・配信：Zoomウェビナー(ライブ配信のみ)
 3. 受講対象者：都内在住・在勤の薬剤師
 4. 定員：会場受講:100名、配信受講:1,000名
 5. 受講料：無料 ※視聴にかかる通信費は、受講者自身でご負担ください。
 6. 申込方法：東京都薬剤師会ホームページ(<https://www.toyaku.or.jp/>)
「お知らせ」よりお申込みください。申込後、ご登録のメールアドレスに受付確認メールが届きます。
 - ・会場受講を選択された場合は、受講票を印刷して当日ご持参ください。
 - ・配信視聴を選択された場合、視聴用URL、ミーティングID、パスワード等は受付期間終了後、直接メールで送信します。
 7. 申込期間：10月27日(月)14:00～11月4日(火)17:00(定員に達し次第締切)
※会員先行10月20日(月)14:00～
 8. 単位認定：東京都薬剤師会(G26)2単位
 9. テーマ：かかりつけ薬剤師に必要な薬学的知識と行動
 10. プログラム(予定)：
 - (1) 「薬局OTC販売のポイント～胃腸薬編～」(仮)
株式会社メディカルガーデン法人本部
OTC・セルフ Medikation 推進室 室長 鈴木 伸悟 氏
 - (2) 「現場に応用する臨床推論」(仮)
東京医科大学病院薬剤部 主査 添田 博 氏
 - (3) パネルディスカッション
- 本研修会は東京都薬剤師会認定基準薬局の認定のための研修会の1つです。

7) 東京都委託「令和7年度東京都薬剤師認知症対応力向上研修」の開催について

東京都薬剤師会より通知がありました。

東京都薬剤師会では、地域において薬局・薬剤師が認知症の疑いのある人に早期に気づき、医療における認知症への対応力を高め、認知症の人への支援体制構築の担い手となることを目的として、今年度も標記研修を開催いたします。

受講される方の利便性を考慮し、オンライン配信で、下記のとおり曜日と時間帯を変えて2回開催いたします。薬剤師認知症対応力向上研修事業実施要綱の標準カリキュラムを踏襲した内容で行いますので、ご都合に合わせて受講いただけます。

記

- 研修名：【第1回】令和7年度 東京都薬剤師認知症対応力向上研修
- 開催日時：令和7年11月29日(土)15:00～18:40
- 定員：500名(目安)

- 研修名：【第2回】令和7年度 東京都薬剤師認知症対応力向上研修
- 開催日時：令和7年12月7日(日)9:00~12:40
- 定員：500名(目安)

- 参加費：無料(データ通信料は受講者の負担となります)
- 研修対象者：都内勤務(開設を含む)薬剤師
- 修了証書の交付：受講修了者には、東京都知事名の修了証書が交付されます。
- 研修認定単位：東京都薬剤師会(G26)研修単位2単位(予定)
- 申込方法：都薬ホームページ(<https://www.toyaku.or.jp/>)「お知らせ」より、
10月15日(水)14時からお申込みを受け付けます。
 - 〈申込締切〉 第1回 11月13日(木) 14:00 まで
 - 第2回 11月20日(木) 14:00 まで
- 受講方法：Zoom ウェビナーにて配信します。
 受講方法の詳細については、申込受付後、別途お知らせいたします。

豊島区薬剤師会からの連絡事項

1) 【再掲】高齢者の服薬情報提供事業へご協力をお願い

冒頭でもご案内させていただきましたが、今年度も高齢者の服薬情報提供事業へのご協力をよろしくお願いいたします。

今年度は、実施方法が変更となっております。詳細についてはeST-aidで8月6日に配信したファイルをご確認ください。

該当すると思われる患者へのお声掛けもお願いいたします。



2) 【再掲】豊島区薬剤師会ホームページについて

地域における夜間・休日の医薬品提供体制の構築及びリストの公表を行っています。

【リストの掲載場所】

豊島区薬剤師会HP → 区民向けご案内 → 薬局をさがす(地図またはリストで探せます)

- <https://www.toyoyaku.jp>
- 会員専用ページのID、PWはいずれも「toshima」です。

今後とも、内容の充実を図るとともに、よりわかりやすい情報を発信してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

会員退会

堀内 尚美 (A)	薬局アポック池袋店	東池袋3-1-1
澤邊 陽美 (A)	テイケイ調剤薬局	南大塚2-10-1

会員入会

領家 望 (A)	薬局アポック池袋店	東池袋3-1-1
小川 奈津美 (A)	テイケイ調剤薬局	南大塚2-10-1

会員数報告

A 会員	108 名
B 会員	10 名
賛助会員	2 名
合計	120 名



保険部より

1) 【重要】 妥結率等に係る報告書の提出について

全ての保険薬局は、「特掲診療料の施設基準等及びその届出に関する手続き」により、「妥結率、医療用医薬品の取引に係る状況、及び流通改善に関する取組状況」について、毎年4月1日から9月30日までの期間における実績を地方厚生局へ報告することとなっております（受付期間：10月1日～11月28日）。また、この報告を“期限までに提出しない保険薬局”及び“妥結率の実績が5割以下の保険薬局”は、翌年の調剤基本料（6月1日～5月31日間）を所定点数の50/100相当で算定することとなります。つきましては、全ての保険薬局（但し、本年4月2日以降に新規指定となった保険薬局を除く）に提出が求められておりますので、期限の11月28日（金）までに報告していただくようお願いいたします。

2) 「医療扶助のオンライン資格確認導入に係る医療機関等助成事業」 の申請期限の延長について

厚生労働省では、医療扶助のオンライン資格確認の導入に向けた環境整備を推進していくため、レセプトコンピューター等の改修費用等に係る助成事業（医療扶助のオンライン資格確認導入に係る医療機関等助成事業）を実施しております。当該助成金の申請期限については、これまで「令和7年9月30日」とお知らせしていましたが、今般の申請状況等を鑑み、申請期限が「令和8年1月15日」に延長されましたのでお知らせいたします。

1. 助成金申請対象医療機関等

申請時において医療扶助のオンライン資格確認導入に伴うレセプトコンピューター等の改修を実施済みの病院、診療所、薬局

※ 申請には、改修に係る領収書（必要に応じて領収書内訳書）が必要です。ご準備でき

た段階で、医療機関等向け総合ポータルサイトより申請ください。
医療扶助におけるオンライン資格確認等導入に係る助成金について：
https://iryohoken.jyoho.service-now.com/csm?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0010217

2. 補助金の内容：

- ① 病院：上限23.8万円 ※事業費（上限56.6万円）の1/2を補助
- ② 大型チェーン薬局：上限3.6万円 ※事業費（上限7.3万円）の1/2を補助
- ③ 診療所、②以外の薬局：上限5.4万円 ※事業費（上限7.3万円）の3/4を補助

3. 申請期限 令和8年1月15日（木）まで

【照会先】厚生労働省社会・援護局 保護課 保護事業室 TEL：03-5253-1111（内線 2829）

3) 令和7年10月以降の電子処方箋の導入補助について

医療情報化支援基金（ICT 基金）による電子処方箋の導入補助について、補助対象とする導入期限を令和8年9月まで延長した上で、令和7年10月以降に導入した施設に対しても補助を実施し、補助対象の機能について、従来の院外処方機能に加えて院内処方機能も補助対象に追加されるということです。また、現時点において概ねすべての薬局に導入されることが見込まれていることから、補助対象とする導入期限としては令和8年9月までの延長を最後となるということです。そのため、現在未導入の薬局におきましては、電子処方箋システムに関する導入補助金を受ける最後の機会となりますので、現在導入を検討されている薬局に置かれましては、是非ともこの機会を逃さずにご活用ください。



令和7年10月以降の電子処方箋の導入補助

- 令和7年10月以降の医療情報化支援基金（ICT基金）による電子処方箋の導入補助について、**補助対象とする導入期限を令和8年9月まで延長**した上で、令和7年10月以降に導入した施設に対しても補助を実施する。また、補助対象の機能について、従来の院外処方機能に加えて**院内処方機能も補助対象に追加**する。
- **令和8年10月以降の補助の取扱いについては、令和8年夏までにとりまとめられる電子カルテ/共有サービスの普及計画を踏まえて、電子処方箋と電子カルテ/共有サービスが一体的に導入が進むよう、改めて補助の取扱いを検討**する。ただし、**薬局については、現時点において概ねすべての薬局に導入されることが見込まれていることから、補助対象とする導入期限としては令和8年9月までの延長を最後とし、未導入薬局に対しては導入期限までの導入を促すこととする。**
- ※ 院内処方情報を電子処方箋管理サービスへ登録する際に、電子署名を求めているため、電子署名に必要なHPKIカードの保有等は必ずしも必要ない。補助事業においても電子署名を必要としない施設は、HPKIカードの保有等は求めない。

令和7年9月まで	大規模病院	病院	診療所	大型チェーン薬局	薬局
院外処方機能 (基本機能)	162.2万円を上限に補助 ※事業額の486.6万円を 上限に、その1/3を補助	108.6万円を上限に補助 ※事業額の325.9万円を 上限に、その1/3を補助	19.4万円を上限に補助 ※事業額の38.7万円を 上限に、その1/2を補助	9.7万円を上限に補助 ※事業額の38.7万円を 上限に、その1/4を補助	19.4万円を上限に補助 ※事業額の38.7万円を 上限に、その1/2を補助
院外処方機能 (基本機能+追加機能)	200.7万円を上限に補助 ※事業額の602.2万円を 上限に、その1/3を補助	135.3万円を上限に補助 ※事業額の405.9万円を 上限に、その1/3を補助	27.1万円を上限に補助 ※事業額の54.2万円を 上限に、その1/2を補助	13.8万円を上限に補助 ※事業額の55.3万円を 上限に、その1/4を補助	27.7万円を上限に補助 ※事業額の55.3万円を 上限に、その1/2を補助
令和7年10月以降	大規模病院	病院	診療所	大型チェーン薬局	薬局
院外処方機能 (基本機能+追加機能)	200.7万円を上限に補助 ※事業額の602.2万円を 上限に、その1/3を補助	135.3万円を上限に補助 ※事業額の405.9万円を 上限に、その1/3を補助	27.1万円を上限に補助 ※事業額の54.2万円を 上限に、その1/2を補助	13.8万円を上限に補助 ※事業額の55.3万円を 上限に、その1/4を補助	27.7万円を上限に補助 ※事業額の55.3万円を 上限に、その1/2を補助
院外処方機能+院内処方機能 (基本機能+追加機能+院内処方機能)	247.7万円を上限に補助 ※事業額の743.2万円を 上限に、その1/3を補助	169.6万円を上限に補助 ※事業額の508.8万円を 上限に、その1/3を補助	35.9万円を上限に補助 ※事業額の71.7万円を 上限に、その1/2を補助	15.1万円を上限に補助 ※事業額の60.3万円を 上限に、その1/4を補助	30.2万円を上限に補助 ※事業額の60.3万円を 上限に、その1/2を補助

【大規模病院】病床数が200床以上の病院 【大型チェーン薬局】グループで処方箋の受付が月4万回以上の薬局
【追加機能】リフィル処方箋、口頭同意による重複投薬等チェック結果閲覧、マイナンバーカードによる電子署名対応、処方箋ID検索

1

4) 電子お薬手帳システム等を統合した 薬局DX基盤サービス

「N-Bridge」について

日本薬剤師会から連絡がありました。

昨今、電子お薬手帳システムや医薬品情報共有システムが個別に提供されており、薬局がそれぞれと契約することによる経済的・管理的負担の増大が課題となっております。

また、FAXコーナーを撤去した医療機関やFAXコーナー未設置の医療機関が限定的運用を目的としたシステム等と契約し、端末を設置する事例も一部で見受けられます。これらの端末は、薬剤師会等が管理してきたFAXコーナーとは異なり、特定の契約薬局が優先的に表示されるなど、患者の意思が正しく反映されない仕組みとなっている場合があります。特定の薬局への誘導につながるおそれがあります。

さらに、処方箋を応需した薬局が負担する費用が高額であるなど、薬局ひいては地域の医療提供体制に悪影響を及ぼし、患者にとっての不利益となる懸念があります。

かかる状況を踏まえ、本会では電子お薬手帳システム「eお薬手帳3.0」を基盤とした、公正かつ中立な薬局DX基盤サービス「N-Bridge（エヌブリッジ）」を、日本薬剤師会の電子お薬手帳（開発会社：株式会社ファルモ）の基盤を基本として運用する運びとなりました。

「N-Bridge（エヌブリッジ）」は、薬局に対しては、電子お薬手帳・処方箋受付・医薬品情報共有・医薬品発注等の機能を統合したシステムを提供し、各都道府県・地域・支部薬剤師会に対しては、従来のFAXコーナーに代わる医療機関設置型の処方箋等情報送信端末「NB Station（エヌブーステーション）」を提供いたします。これにより、地域の薬局業務全般を支える持続可能なDX基盤を整備してまいります。

詳細につきましては、本年度内に説明会を開催する予定です。

詳細につきましては保険部ページをご覧ください。
豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブ
はこちら > その他資料 > 令和7年度資料 > 令和7年10月資料
https://drive.google.com/file/d/1UuzfIRT6tmeVf74GEtGJ1cDaW9EBnLLJ/view?usp=drive_link

5) 医療事故情報収集等事業「医療安全情報 No. 227」の提供について

日本医療機能評価機構より通知がありましたのでお知らせいたします。
医療事故情報収集等事業において収集した情報のうち、特に周知すべき情報を取りまとめ、10月15日に「医療安全情報 No. 227」を本事業ホームページ(<https://www.med-safe.jp/>)で提供しましたのでお知らせいたします。なお、この医療安全情報の他、報告書、年報も、本事業ホームページに掲載しておりますので、医療事故の発生予防、再発防止のために活用ください。

- 日本医療機能評価機構 > 医療事故情報収集等事業 > 医療安全情報
<https://www.med-safe.jp/contents/info/index.html>
- 医療安全情報 No. 227
https://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_227.pdf

6) 【再掲】保険に関する情報は「豊島区薬剤師会保険部グループページ」をご覧ください

豊島区薬剤師会では保険関係の情報を詳細に伝達するために、専用ページを設けております。
URLより通知等の原文のPDFが閲覧可能です。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > googleドライブはこちら
<https://drive.google.com/drive/u/1/folders/1Izvjl6An3GWZy3JDSlgLS0TVlawLkDRX>



7) 【再掲】 保険関係のお問い合わせについて

eST-aidにてご案内しましたが、豊島区薬剤師会ホームページに問合せフォームを作成いたしました。保険関係のお問い合わせはこちらのフォームよりお願いいたします。
なお、ご回答にはお時間をいただく場合もありますこと、ご承知おきください。

◆保険関係お問い合わせフォーム

<https://forms.gle/HC1TfHsmiYiJkuHW9>

豊島区薬剤師会ホームページ → 会員専用ページ → 保険部より
会員専用ページに入るにはユーザー名・パスワードが必要です。
会員専用ページのID、PWはいずれも「toshima」です。



学術部より

1) 豊島区薬剤師会学術講演会のお知らせ

11月の勉強会は次のとおり実施いたします。

日時：令和7年11月18日（火）19:45-21:30

場所：情報通信機器（Zoom）を用いて実施いたします。

内容：

【講演Ⅰ】

演題：『在宅認知症診療とアルツハイマー型認知症に関する薬剤の使用状況について』

講師：豊島長崎クリニック 認知症疾患医療センター 副センター長
谷 恵梨子 先生

【講演Ⅱ】

演題：『アルツハイマー型認知症BPSDの対応について』

講師：東京都健康長寿医療センター 精神科 部長
古田 光 先生

☆今回の勉強会は東京都薬剤師会薬剤師生涯研修認定制度の認定単位1点となります。

☆申し込みを豊島区薬剤師会HPからの参加登録のみに限らせて頂きます。

☆申し込み方法：豊島区薬剤師会HPにアクセス→「勉強会・研修会情報」→「お申し込みはこちら」をクリック→Zoom登録画面に移行します

☆参加受付開始日時：令和7年11月4日（火）9:00～11月12日（水）12:00

☆ご参加を事前申し込み70名様までと限らせて頂きます。

☆認定単位をご希望の方で薬剤師免許証コピー未提出の方は薬剤師免許証のコピーのFAXをお願いいたします。（過去に提出されていれば結構です。）



2)【再掲】勉強会・研修会の単位付与について

豊島区薬剤師会の勉強会・研修会は、情報通信機器を用いた研修を中心に実施しております。

情報通信機器を用いた研修の視聴確認は、WEBシステム上のログとキーワードの確認によって行っております。単位は個人への付与であることから、各自のログが必要であることと、視聴確認の観点から、キーワードの提示は不定期であり、かつ複数回の提示はないことをご理解いただきますようお願いいたします。

なお、単位付与の基本的な考え方について豊島区薬剤師会ホームページに掲載しておりますので、ご確認いただくようお願いいたします。

薬学生実務実習関係

1) 実務実習指導薬剤師の方々へのお知らせ

10月8日（水）薬業会館にて懇親会を開催しました。

11月2日（日）でⅢ期の実習が終わります。

指導薬剤師の皆さま、今年度もご指導いただきどうもありがとうございました。

引き続き、何かお困りのことがありましたらいつでも相談を受け付けております。

また、指導薬剤師の資格を取得されたい先生は、指導薬剤師養成WSのお申込みも受付しております。



地域医療/多職種連携担当より

1) 池袋あうる薬局輪番

11月の輪番は以下の通りです。出勤よろしくお願いたします。

お願い ~輪番に入る7日前までに、出勤する方の氏名をあうる薬局まで連絡してください。

11月	日勤 9:00~16:00		準夜 16:00~22:00	
		事務兼務		事務兼務
1日(土)			ヒバリ薬局(S)	河添
2日(日)	ヒバリ薬局(T)	小林	うずらやま薬局	前原
3日(月)	池袋駅前げんき薬局	江村	いちょう薬局	南出
8日(土)			かもめ薬局	江村
9日(日)	あけぼの薬局 南長崎店	佐藤	よつば薬局 池袋西口店(K)	小林
15日(土)			あけぼの薬局 南長崎店	河添
16日(日)	こまごめ薬局	黒須	薬局マツモトキヨシ 東長崎駅北口店	前原
22日(土)			あかまつ薬局	前原
23日(日)	池袋駅前げんき薬局	黒須	さの薬局(A)	南出
24日(月)	上池袋薬局	江村	いちょう薬局	南出
29日(土)			平和通り保健薬局	河添
30日(日)	よつば薬局 池袋西口店(T)	藤平	池袋萬盛堂薬局	南出

2) 長崎休日診療所派遣

11月の輪番派遣は以下の通りです。出勤よろしくお願いたします。

11月	2日(日)	長崎調剤薬局
	3日(月)	池袋萬盛堂薬局
	9日(日)	デイジー薬局 池袋店
	16日(日)	デイジー薬局 池袋店
	23日(日)	いちょう薬局
	24日(月)	長崎調剤薬局
	30日(日)	佐藤薬局

3) 医薬品・情報管理センター報告（令和7年9月）

9月

○相談件数

薬局からの処方箋応需	7
患者からの処方箋応需	2
医療用医薬品についての相談	9
医療機関紹介	0
一般用医薬品についての相談	0
その他	8
合計	26

○管理センター売上及び仕入

売上	¥1,852,549
仕入	¥1,473,742

○池袋あうる薬局処方せん受付状況

休日・夜間	85枚
その他	302枚
合計	387枚

情報発信

【「シアリス」のOTC化了承 - ED薬で初、18歳以上に】

薬事審議会要指導・一般用医薬品部会は18日、エスエス製薬の勃起不全（ED）治療剤「シアリス」（一般名：タダラフィル）を要指導医薬品として製造販売承認することを了承した。ED治療剤のOTC化は国内初。医療用医薬品と同様に用量を10mgとし、製造販売業者の研修を受けた薬剤師が18歳以上の成人男性を対象に販売できる。

同剤は、日本新薬の医療用医薬品「シアリス錠10mg」を要指導医薬品にOTC化したもので、用量は10mg、効能・効果も勃起不全（満足な性行為を行うに十分な勃起とその維持ができない人）と医療用と同様のものとしている。

承認条件として、少なくとも3年間の安全性等に関する製造販売後調査を実施することとし、調査を踏まえて要指導医薬品にとどめるか、一般用医薬品に移行するかどうかは医薬品等安全対策部会で議論することとした。

医療用医薬品の用法・用量は、成人男性に1日1回投与するとしているが、委員からの意見を踏まえ、販売対象者が薬剤師の判断で変わらないよう、要指導医薬品では18歳以上が対象であることを用法・用量に明記する。

製造販売業者による研修を受けた薬局のみで販売でき、薬剤師が購入者の年齢を確認する。また、腎機能が低下している可能性がある人に関する注意事項を添付文書の「相談すること」の項目に記載するほか、性感染症を予防する薬剤でないことを明記すること、服用する人のパートナー向けの情報提供資料作成などにも対応することとした。

ED治療剤を一般用医薬品として承認している国は、英国、ポーランド、アイルランド、ノルウェーの4カ国。

緊急避妊薬と同様に今まで医療用医薬品かつ要処方箋医薬品として存在していたものが制限付きでOTC化されていく傾向が伺えます。OTC類似薬の保険外し議論も行われておりますので、保険調剤のみならずOTCに関しても今後より一層の研鑽が必要になってくるのではないかと思います。



4) **【重要・再掲】地域における夜間・休日の医薬品提供体制 (在宅含む)の構築、リスト化及び周知等について**

厚生労働省の「薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループ」では、地域において求められる薬剤師サービスとして夜間・休日対応や在宅対応等が重要な要素として挙げられるとともに、会員・非会員を問わず地域の薬局が協力し、議論を行う必要があるとされました。また、第8次医療計画においても、在宅医療ニーズを踏まえ、麻薬・無菌製剤処理、小児への訪問薬剤管理指導、24時間対応等の体制構築が求められています。

これらの社会要請を踏まえ、日本薬剤師会より当該事項に関する体制構築と共に、地域住民へ情報の「見える化」の実現に関して依頼がございました。また、当該リストの公表は令和6年度診療報酬改定における地域支援体制加算・在宅薬学総合体制加算・連携強化加算の要件にもなっております。

豊島区薬剤師会では災害対策として既に利用しているeST-aidを用いてリストの作成と公表を行っています。加算の有無に係わらず各自薬局情報の入力・更新をお願い申し上げます。

【操作手順資料】

<https://doc.est-jp.com/n/other/shopfn/shop.pdf>

【掲載場所】

豊島区薬剤師会ホームページ > 区民向けご案内
<https://toyoyaku.jp/residents.html>

■ リストでさがす

[◇外来対応一覧表](#)

[◇在宅対応一覧表](#)

[◇その他の薬局機能一覧表](#)

5) **【再掲】eST-aidをご活用ください**

豊島区薬剤師会では災害時情報共有システムとしてeST-aidを利用しております。

会員の皆様には既にご登録頂き、毎年情報共有テストを震災が起こったことを想定して被災状況の報告をしていただいております。

eST-aidにはe-Stockという各薬局における採用薬の開示および不動態薬品の公開が可能なシステムが存在し、各薬局間の小分けや不動態薬品解消に一助になればと今後活用を促進していきたいと考えております。操作方法などご不明点がございましたら豊島区薬剤師会事務局へお問い合わせください。

※災害時情報共有システム (eST-aid)

<https://est-jp.com/est-aid/>

理事会報告

10 月度理事会

日 時：2025 年 10 月 8 日（水） 午後 8 時 33 分開始 午後 10 時 28 分終了

場 所：豊島区南池袋 3-2-6 豊島区薬業会館

出席者：佐野会長 伊原副会長 佐藤副会長 江村副会長 元谷常務理事

南出常務理事 黒須常務理事 林理事 内山理事 小林理事 北川理事

原田理事 藤平理事 青嶋理事 大澤監事 廣田監事

9 月度理事会議事録が承認された。

報告事項

1. 東京都薬剤師会「地区及び職域薬剤師会 会長会」資料報告
2. 学術・保険担当報告
3. 防災・公衆衛生・総務担当報告
4. 地域医療・多職種連携担当報告
5. その他

協議事項

なし

審議事項

1. 外部理事・外部監事の選任方法・定員・退職慰労金・求められる人物像と外部理事の報酬の件
 - ・外部理事・外部監事の選任方法は理事会推薦とすること、外部理事・外部監事の退職慰労金は不支給とする、外部理事の役員報酬は不支給とすることが承認された。
 - ・外部理事・外部監事の定員は、各 1 名とすることが承認された。
 - ・外部監事の求められる人物像については、「弁護士・会計士・税理士の資格を持つ者、公益事業と公益法人の運営経験や知識を有する者、経理経験者で、かつ理事会・総会に出席できる者」とすることが承認された。
 - ・外部理事の求められる人物像については、「薬剤師、薬業界に明るい者、運営に関わる者、薬剤師会にメリットを与えてくれる可能性がある者で、かつ理事会に出席できる者」とすることが承認された。
2. 経理規程改定の件
公益法人会計基準改正や公益法人制度改定に伴い、公益法人会計基準や語句等を制度改定に適応させるための改定を行うことが承認された。
3. スキャナ保存規程制定の件
スキャナによる電子化保存規程制定について制定することが承認された。
4. 巢鴨信用金庫定期預金作成の件
巢鴨信用金庫定期預金作成について、定期預金を作成することが承認された。
5. 報酬規程改定の件
 - ・「報酬・出勤費に関する内規の公開講座・研修会等講師の非会員の報酬費」について、「非会員 ¥30,000」とすることが多数決によって承認された。
 - ・「報酬・出勤費に関する内規の災害用医薬品入れ替え作業の報酬費」については、

11 月度理事会で審議する。

6. その他

- ・「きずな音楽祭 with 豊島区がん対策推進特別講演会」の後援としての豊島区薬剤師会の名義使用について承諾された。

豊島区薬剤師会の活動（9 月）

9/1（月）	豊島区薬剤師会	防災・公衆衛生・総務グループミーティング
9/2（火）	豊島区	医療対策本部訓練
9/2（火）	豊島区薬剤師会	学術・保険グループミーティング
9/4（木）	豊島区薬剤師会	地域医療・多職種連携グループミーティング
9/4（木）	豊島区薬剤師会	池袋あうる薬局運営委員会
9/5（金）	豊島区	池袋あうる薬局移転打合せ
9/6（土）	東京都薬剤師会	地区・職域薬剤師会会長会
9/10（水）	豊島区薬剤師会	実務実習集合研修
9/10（水）	豊島区薬剤師会	9 月度理事会
9/16（火）	菊かおる園圏域	コアメンバー会議
9/17（水）	東京都	公益法人立入検査
9/18（木）	豊島区薬剤師会	学術講演会
9/21（日）	豊島区薬剤師会	公開講座
9/25（木）	豊島区薬剤師会	正副会長会
9/29（月）	豊島区薬剤師会	防災・公衆衛生・総務グループミーティング
9/30（火）	東京都薬剤師会	地域医薬品提供体制強化のためのアクションリスト 第 1 回 区西北部ブロック会議
9/30（火）	豊島区	令和 7 年度第 2 回豊島区在宅医療連携推進会議
9/30（火）	豊島区薬剤師会	学術・保険グループミーティング

令和 7 年度の主な活動予定

■ 地区薬剤師研修会

第 1 回	令和 7 年 8 月 23 日（土）	Web 実施
第 2 回	未定	

■ 薬剤師研修会

第 1 回	令和 7 年 11 月 27 日（木）	北池薬局
第 2 回	未定	

■ 区民公開講座

第 1 回	令和 7 年 9 月 21 日（日）	としまセンタースクエア
第 2 回	令和 7 年 12 月 7 日（日）	としま区民センター（健康展同時開催）
第 3 回	令和 8 年 2 月 1 日（日）	としまセンタースクエア

■ 健康展

令和7年12月7日（日） としま区民センター

■ 新年会

令和8年1月17日（土） ホテルメトロポリタン池袋



医薬品分割販売利用案内

公益社団法人豊島区薬剤師会 会長
豊島区医薬品・情報管理センター センター長

※要遮光の医薬品（散剤、顆粒、ドライシロップ、水剤）について、仕切り書と薬ラベルに「遮光」と記載することにしました。保存に関しては各薬局にて管理をお願いいたします。

1. 分割販売品目: 医薬品約1800品目、投薬ビン・軟膏壺などの医療材料
豊島区薬剤師会ホームページに販売品目リストを掲載しております。

2. 販売単位: 容器が必要な場合は、所定の容器（有料）を使用いたします。

錠剤・カプセル	1錠・1カプセル単位
散剤・顆粒・ドライシロップ	1g単位（バラ）、1包単位（分包品）
水剤	1ml単位（バラ）、1包単位（分包品）
軟膏・クリーム	1g単位（バラ）、1本単位（チューブ）
点眼・点耳・吸入	1本単位
ハップ剤	1袋単位
坐剤	1個単位
医療材料等	1個単位

豊島区薬剤師会 HP
池袋あうる薬局・医薬品・情報管理センター
https://toyoyaku.jp/owl_center.html



3. 販売価格: 医薬品・・・薬価(消費税入) / その他医療材料等・・・取扱品目リストに掲載

4. 手数料	豊島区薬剤師会 会員	無 料	
	区外 東京都薬剤師会 会員	1 回	110 円 (消費税入)
	その他医療機関	1 回	2,200 円 (消費税入)

5. 検収・返品

医薬品受領時に必ずご確認いただき受領印もしくは自署をお願いいたします。

品質管理上、返品はできません。ただし、メーカー回収の場合は、この限りではありません。

※使用期限が2ヵ月未満の場合は事前に確認の連絡をさせていただきます。

2ヵ月以上でも期限の確認が必要な方は発注書の備考欄にその旨をご記入ください。

6. 発注方法

注文方法：専用の発注書に必要事項を記入のうえ、FAXにてご注文ください。

受付時間	月曜日～土曜日	9時	から	16時30分
受取時間	月曜日～金曜日	9時	から	17時
	土曜日・日曜日・祝日	9時	から	21時30分

※年末年始、棚卸等により臨時休業する場合があります。（ホームページでご確認ください）

※指定の発注書は、ホームページよりダウンロードできます。

電話での注文は
お受けしておりません

7. 利用者の確認事項

初回利用時には、開設許可証の写し・都薬の会員証をお持ちの方は会員証の写しもご提出ください。

なお、豊島区薬剤師会会員の方は提出不要です。

その他開設許可更新等、管理センターが開設許可証の確認が必要と判断した場合には、再度ご提出 いただくことがあります。

8. 支払い方法

豊島区薬剤師会会員は、原則として月末日締め「翌月口座引落」となります。

その他の方は、「薬品受け取り時に現金支払い」となります。

公益社団法人豊島区薬剤師会
医薬品・情報管理センター 御中
FAX 03-3984-7546

取扱い要望書

令和 年 月 日

薬局名

以下の製品の取扱いを要望します

製品名	規格

※ 管理センターでは、会員様の要望のあるものにつきまして、取扱いを検討し、採用するか否かを決定する資料として使用します。つきましては「取扱い要望書」に記入し、あうる薬局に提出してください。FAXでかまいません。

※ 「取扱い要望書」は、豊島区薬剤師会ホームページからもダウンロードできます。

管理センター取り扱いリスト追補

* 新規取り扱い（過去に中止または停止したものの再開、リスト作成時に漏れたものも含む）

薬品名	剤型	内用・外用
アジルサルタン錠 40mg「武田テバ」	錠	内用
アダパレンクリーム 0.1%「ニプロ」	本	外用
インチュニブ錠 1mg	錠	内用
ウリアデック錠 60mg	錠	内用
エフィナコナゾール爪外用液 10%「科研」	本	外用
カルベジロール錠 1.25mg「DSEP」	錠	内用
グリメピリド錠 0.5mg「NC」	錠	内用
サイレース錠 1mg	錠	内用
セクタークリーム 3%	本	外用
ソラナックス 0.4mg 錠	錠	内用
タグリッソ錠 40mg	錠	内用
デュロキセチンカプセル 20mg「サワイ」	C	内用
トリンテリックス錠 20mg	錠	内用
ピオグリダゾン錠 30mg「武田テバ」	錠	内用
ヒポカ 10mg カプセル	錠	内用
プロクトセディル坐薬	個	外用
ブロナンセリン錠 2mg「サワイ」	錠	内用
ミティキュアダニ舌下錠 3, 300JAU	錠	内用
メホビル配合錠 HD「トーワ」	錠	内用
メホビル配合錠 LD「トーワ」	錠	内用

* 取り扱い中止

薬品名	内用・外用
アクトス錠 15	内用
アセトアミノフェン「JG」原末	内用
アテノロール錠 25mg「サワイ」	内用
アトラント外用液 1%	外用
エナジア吸入用カプセル中用量	外用
エバステル OD 錠 5mg	内用
ガスター注射液 20mg	外用
ガスマチン散 1%	内用
ガスロン N・OD 錠 4mg	内用
カルベジロール錠 2.5mg「サワイ」	内用
クリアナール錠 200mg	内用
ジェイゾロフト錠 50mg	内用
ジプレキサ細粒 1%	内用
ゾビラックス錠 400	内用
テオドール錠 100mg	内用
パリエット錠 20mg	内用
フルコナゾールカプセル 100mg「サワイ」	内用
ミオナール顆粒 10%	内用
ミニリンメルト OD 錠 25μg	内用
ムコダインシロップ 5%	内用

薬品名	内用・外用
メチコパール錠 250 μ g	内用
リスモダンカプセル 50mg	内用
レイボー錠 100mg	内用
ロピニロール錠 2mg「JG」	内用

7 都薬会発第 217-1 号
令和 7 年 10 月 4 日

地区及び職域薬剤師会 会長 殿

公益社団法人 東京都薬剤師会
会長 高橋 正夫

「在宅医療Q&A令和7年版」の斡旋について

平素より、本会会務につきご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会では、(株)じほう発行の「在宅医療Q&A令和5年版」を斡旋しておりますが、このたび内容の改訂が図られ、「令和7年版」が発刊されます。引き続き下記要領にて斡旋することといたしましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、貴会会員への周知方宜しくお願い申し上げます。

記

1. 名称 : 「在宅医療Q&A令和7年版」
2. 発行 : 株式会社 じほう
3. 判型 : A5判、320頁
4. 価格 : 定 価 3,080円(税込)
会員価格 2,750円(税込)
5. 送料 : 地区薬剤師会宛 無 料
個人・薬局宛10冊未満 550円
個人・薬局宛10冊以上 無 料
6. 申込先 : 東京都薬剤師会 薬局業務課 書籍担当
7. 申込方法 : FAXでお申し込みください。(FAX 03-3294-7359)
8. 送金方法 : 請求書は、ご注文頂いて一週間程後に郵送いたします。
本の到着後に、請求書に同封いたします「払込票」により最寄りの郵便局にて払込送金をお願いいたします。

<担当 事務局 薬局業務課 TEL 03-3294-0271>

7 都薬会発第 217-2 号
令和 7 年 10 月 4 日

地区及び職域薬剤師会 会長 殿

公益社団法人 東京都薬剤師会
会長 高橋 正夫

「妊娠・授乳と薬のガイドブック第2版」の斡旋について

平素より、本会会務につきご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会では株式会社 じほう発行の「妊娠・授乳と薬のガイドブック」を斡旋しておりますが、この度内容の改訂が図られ、「第2版」が発刊されます。引き続き下記要領にて斡旋することといたしましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、貴会会員への周知方宜しくお願い申し上げます。

記

1. 名称 : 「妊娠・授乳と薬のガイドブック第2版」
2. 発行 : 株式会社 じほう
3. 判型 : A5判 296頁
4. 価格 : 定 価 3, 520円(税込)
会員価格 3, 080円(税込)
5. 送料 : 地区薬剤師会宛 無 料
個人・薬局宛10冊未満 550円
個人・薬局宛10冊以上 無 料
6. 申込先 : 東京都薬剤師会 薬局業務課 書籍担当
7. 申込方法 : FAXでお申し込みください。(FAX 03-3294-7359)
8. 送金方法 : 請求書は、発行時期以降に郵送いたします。
本の到着後に、請求書に同封いたします「払込票」により最寄りの郵便局にて払込送金をお願いいたします。

<担当 事務局薬局業務課 TEL 03-3294-0271>

地区・職域薬剤師会
東京都薬剤師会 御中
(いずれかを○で囲って下さい)

幹旋図書 申込書

7 都薬会発第 217 号【7 年 10 月版】

★上記薬剤師会のいずれかにお申し込み下さい。(申込先によりご負担いただく送料が異なります 送料欄参照)

申込年月日		年 月 日
書籍届先	薬局名 又は 地区・職域薬剤師会名	※ 地区・職域薬剤師会が一括申込をされる場合は地区名のみご記入ください
	住所	〒 _____ ※地区・職域薬剤師会事務局の場合は記入不要
請求先住所		〒 _____ ※上記と同じ場合は記入不要
TEL		()
FAX		()
御担当者氏名		

該当書籍並びに別送いたします請求書の到着まで、このお申込書は大切に保管願います。

No.	出版社名	書籍名	幹旋価格 (消費税込)	+ 送料(税込)	部数
1	じほう	在宅医療 Q&A 令和7年度 ※10月発刊 (定価 3,080 円)	2,750	地区薬 薬局・個人 " 10 冊以上 無 料 550 円 無 料	
2	じほう	妊娠・授乳と薬のガイドブック第2版 (定価 3,520 円)	3,080	地区薬 薬局・個人 " 10 冊以上 無 料 550 円 無 料	

※ 他の幹旋刊行物につきましては『日本薬剤師会雑誌』掲載の“日薬刊行物等のご案内”欄をご覧ください

★申込は、所属の地区・職域薬剤師会事務局 もしくは下記の東京都薬剤師会事務局までお願いします。

問合先：事務局 薬局業務課・書籍担当
公益社団法人 東京都薬剤師会
TEL 03(3294)0271